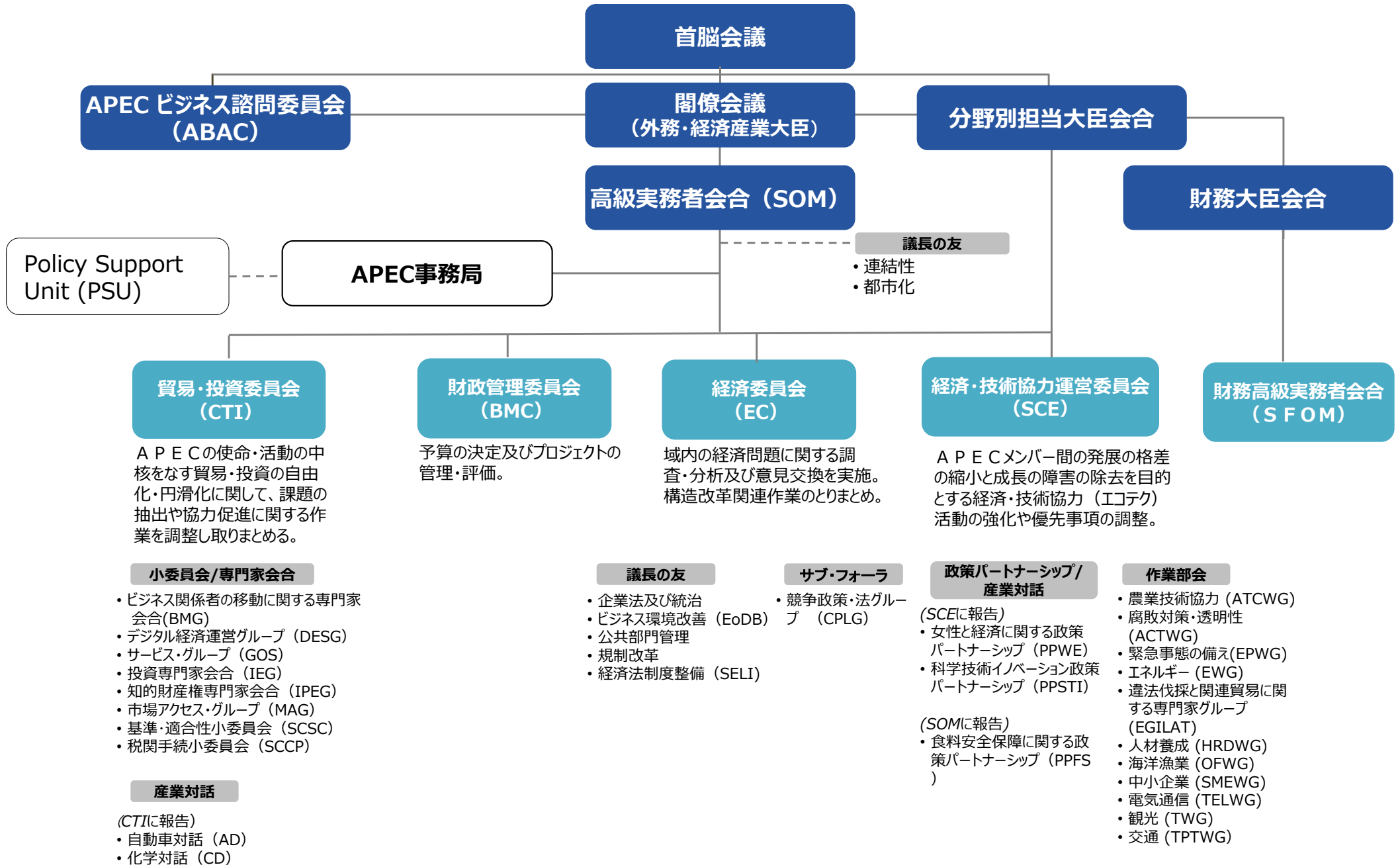


APECの組織



APEC事務運営について

APEC事務局長



レベッカ・ファティマ・サンタマリア（マレーシア）

任期：2022年1月～2024年12月（3年間の任期を予定。2021年より契約延長）

（略歴）

2019－現在 APEC事務局長

2016－2018年 ERIAシニアポリシーフェロー

2010－2016年 マレーシアMITI次官

※ APEC事務局機能強化の一環として、2010年から任期3年の選任事務局長制を採用。
初代APEC事務局長は、ヌール・ヤコブ元マレーシアWTO大使（2010～12年）、
2代目は、アラン・ボラード元NZ準備銀行総裁（2013～18年※2期6年）

APEC事務局

●所在地

シンガポール共和国
（建物は、シンガポール政府からの無償供与）

●職員

APEC参加国・地域から派遣されたスタッフを含め
約60名（2024年時点）が常駐。
日本からは、経済産業省、外務省からそれぞれ1名を派遣。



●ポリシー・サポート・ユニット（PSU）

2008年の日豪共同提案に基づき、APEC事務局
機能強化の一環として設立。

貿易・投資の自由化・円滑化、構造改革、エネルギーなどの分野で調査分析を行い、首脳閣僚に
対して政策提言を行う。約12名（2024年時点）
のスタッフが常駐。

